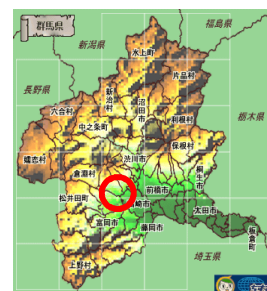


第5号議案	社会資本整備総合交付金事業(通常砂防)	着工年度 評価理由	平成26年度
	烏川支川 房坂川(ふささかかわ)		事業採択後 5年間未着工

1. 事業の目的

・ 本溪流は土石流危険溪流に位置づけられており、溪床に堆積している不安定土砂や倒木が、降雨時に土石流となり下流に流出するおそれがあるため、土砂災害から地域住民の生命と財産を守るため、砂防堰堤2基及び溪流保全工553mを整備するものである。



荒廃状況



2. 事業概要と進捗状況

事業概要

事業場所	高崎市上里見町(かみさとみまち)	
区分	事業当初	今回
全体事業費	354百万円	354百万円
全体事業費増減の理由	-	-
事業期間	H26~H30	H26~R5
事業内容	砂防堰堤 2基 溪流保全工 553m	砂防堰堤 2基 溪流保全工 553m

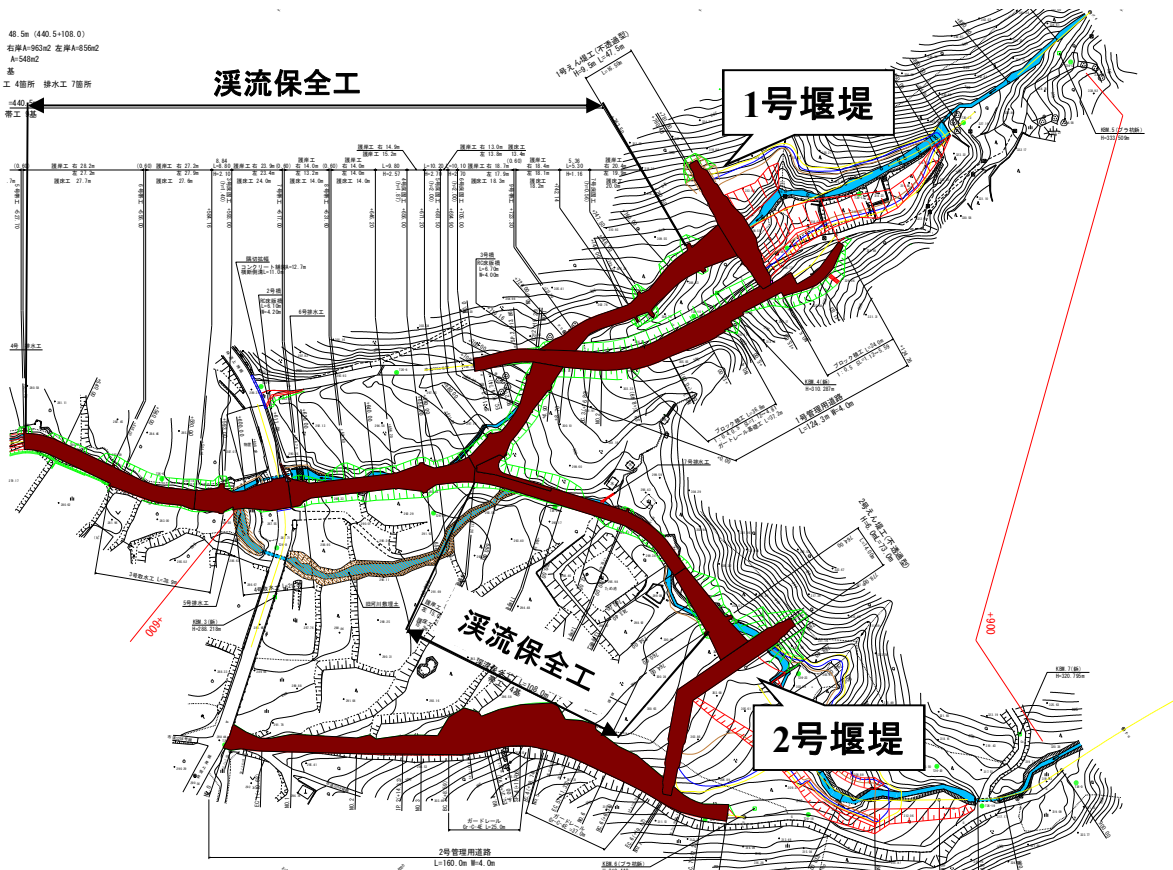
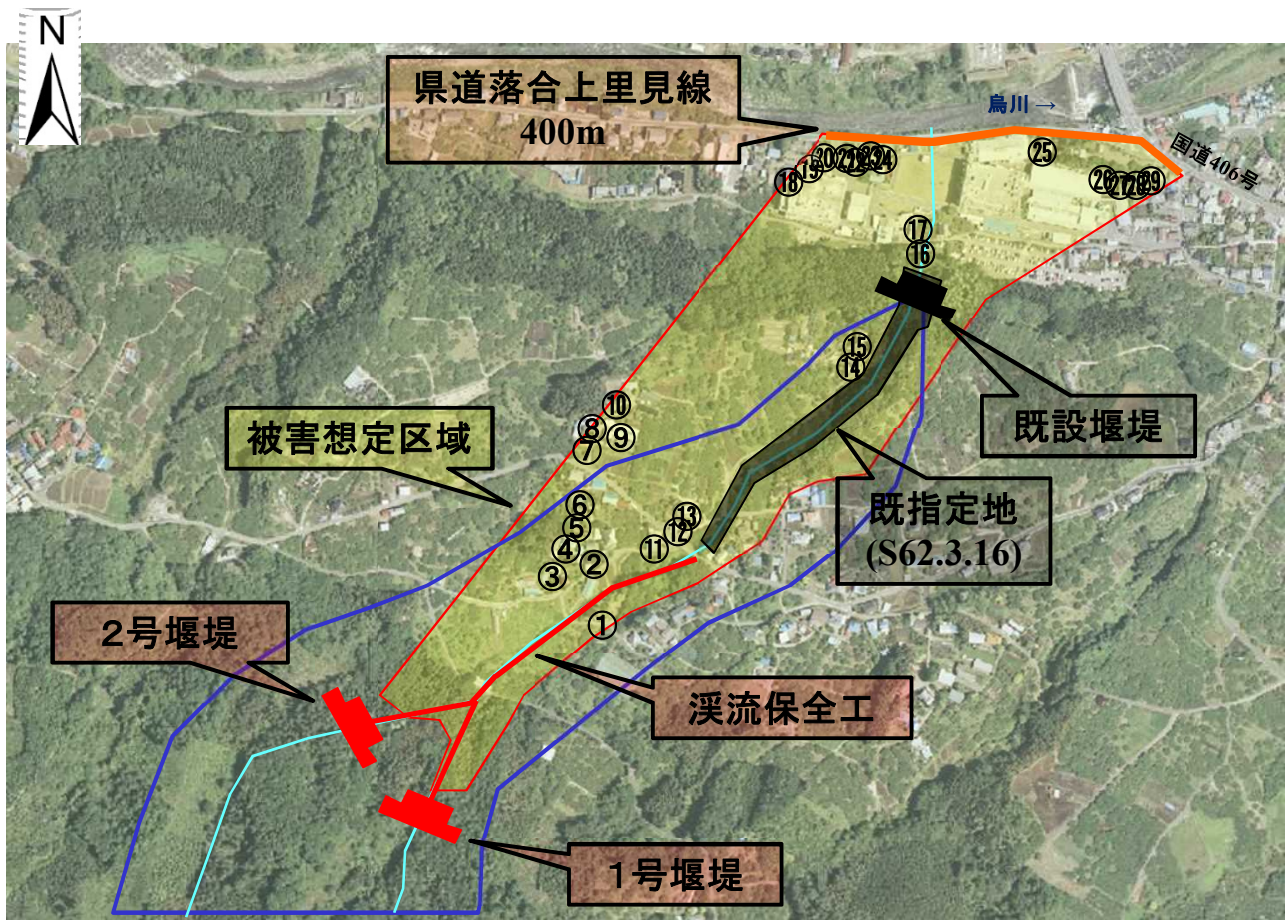
事業経緯

進捗状況

年 度	主 な 経 緯
H26	詳細設計・地質調査
H27 ~ R1	用地境界確定のための調整難航
R2	修正設計、用地測量、 工事用道路着工

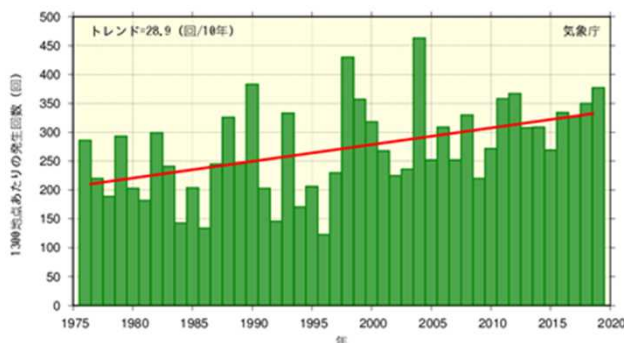
	全体計画	前年度までの 進捗状況 (進捗率)
事業費	354百万円	80百万円 (22.6%)
用地買収	用地測量後確定	0m2 (0.0%)
砂防堰堤	2基	0基 (0.0%)
溪流保全工	553m	0m (0.0%)

2. 事業概要と進捗状況(図面・写真等)



3. 事業の目的・必要性に変化はあるのか？

- 気候変動により、50mm／時以上の非常に激しい雨の発生回数が増えており、土砂災害の激甚化、頻発化、同時多発化が懸念されているため、事業の必要性に変わりはない。
- 保全対象の一つである県道落合上里見線は、緊急輸送道路に位置づけられており、災害時の応急活動のための重要な路線となっていることから、土砂災害による道路の寸断を防止する必要がある。



(全国の1時間降水量50mm以上の年間発生回数の経年変化:気象庁HPより引用)



(令和元年度台風第19号による豪雨により発生した土石流)

4. 目的を達成するための事業(手段)は適切か？

- 不安定土砂や倒木が土石流となって流下した際に、砂防堰堤が土石流全量を捕捉できる貯留容量および砂防堰堤の安定性を確保できる計画位置を検討した結果、保全対象施設の直上流においては、地形的に砂防堰堤の適地がなかったことから、上流の支流2箇所には砂防堰堤2基を設置することで、最も効率的に土砂や流木を捕捉可能な施設計画となっており、手段は適切である。

費用便益分析

		計 画 時		今 回 再 評 価 時		備 考	便 益 説 明
算出根拠マニュアル		土石流対策事業の 費用便益分析マニュアル(案)		土石流対策事業の 費用便益分析マニュアル(案)			
基準年		平成25年		令和2年			
区分	項目	現在価値	構成比	現在価値	構成比		
費用 (千円)	工事費	323,800	100.0%	351,800	94.8%		
	維持管理費			19,200	5.2%	国からの指導により追加	
費用合計(C)		323,800		371,000			
便 益 (千円)	人的被害軽減額	1,579,600	76.4%	1,736,800	73.8%	被害区域内の人命を保護する効果 人家29戸	
	一般資産被害軽減額	408,399	19.7%	510,989	21.7%	被害区域内の家屋・家庭用品等に係る被害を軽減する効果 人家29戸	
	公共公益施設等被害軽減額	80,201	3.9%	105,611	4.5%	被害区域内の公共公益施設等に係る被害を軽減する効果 県道400m、市道1810m	
便 益 合 計 (B)		2,068,200		2,353,400			
費用対効果分析(B/C)		6.38		6.34			

5. 事業が長期間要している理由は？

【 元々が長期計画 不測の事態により長期化 】

- ・ 事業化当初より粘り強く交渉を続けたが、用地境界の立会ができず、約5年間の不測の期間を要したため、事業が長期化している。
- ・ 令和2年3月に用地境界の立会が完了し、用地買収に約1年、工事に約3年を要することから、事業完了は令和5年度となる見込みである。

6. 事業の対応方針は？

事業継続

事業中止

変更なし ・ 事業計画の変更 ・ スケジュールの変更

- ・ 当事業は、土石流危険渓流に位置づけられている房坂川に堆積する不安定土砂や倒木が下流に流出するのを防ぐため、砂防堰堤2基及び渓流保全工553mを整備し土砂災害を防止するものである。
- ・ 下流には、人家29戸のほか、緊急輸送道路に位置づけられている県道落合上里見線400mや市道1810mがあり、土砂災害が発生すると地域住民の生活に多大な影響を与えるため、早急な整備が必要である。
- ・ 昨年度に用地境界の立会を完了し、用地買収を進められることから、事業を継続し、早期完成を図りたい。
- ・ 房坂川通常砂防事業は、地域を土砂災害から守るためには、必要性、重要性は高く、事業継続が妥当である。

7. 市町村意見

市町村	再評価における意見
高崎市	<ul style="list-style-type: none">・ 当該渓流は土石流危険渓流に位置付けられており、土砂災害の危険性の高い場所です。用地関係者からの合意が得られたということなので、災害防止のため事業を継続し早期完成を要望いたします。